

かわいいメルビー

一年 酒井 蓮

ぼくは、きよねんの十一月から、ジャンガリアンハムスターをかっています。なまえはメルビーです。メルビーは、ぼくとおなじであそぶのが好きです。かいてんぐるまとすなあそびをよくしています。

メルビーのおせわも、てつだいます。かいてんぐるまをあらったり、ゴミをすてきれいにしてあげます。エサはまいにちかえてあげます。ひまわりのたねとこまつなが大すきで、これらをあげると、びついてきます。えいようがかたよらないように、ほかのエサもあげます。

メルビーのひだり目が、はんぶんだけあかなくなることがありました。いままでげんきだったので、びっくりしてしんぱいになりました。ママとぼくで、どうぶつびょういんをさがしました。そこで、すべてのどうぶつびょういんで、ハムスターをみれるわけじゃないことをしりました。ハムスターのほんで、目のびょうきもいろいろあることをしりました。びょういんがみつからないのはいやだなともいました。そのあと、ハムスターをみてくれるびょういんはみつかりました。

つぎの日、メルビーの目はいつもどおりでした。ママとたくさんかくにんしましたが、大きくあいていました。目にゴミがついてただけでした。目があいて、げんきにうごきまわって、エサをたべているのを見て、あんしんしました。またなにかあったら、びょういんにつれていってあげようとおもいました。

このまえ、おそうじをしているときに、ぬけげをみつけました。ほかの日にもみつけました。たくさんぬけてはいなかったので、びょうきじゃないことはわかりました。おかあさんにきいたら、かんもうきといって、けがはえかわることだとおそわりました。なつはメルビーも、あついんだなどおもいました。なつバテにならないように、いっしょにきをつけたいです。

メルビーは、とてもかわいいです。これからもだいじにかつていこうとおもいます。